

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十八年
六月

母の服装

母の性格が子どもに影響することの強いのはいふまでもありません。その性格といふほど深いものでなく、その服装が、子ども心に及ぼす影響も亦見のがせません。服装つまりは其の人の性格のあらはれですが、そうまで厳しく言はないとして、幼い子どもにうつる母の服装の色、柄、形、殊に着こなした方は、それ々の目心持を、子どもの感じ易い心に映つさすにゐないでせう。

一般の服装論をこゝでしようとはしません。問題は、この時局下の母の服装です。といつて、母は始終袂を断ち裾をく、つてゐなければならんと申すのではありません。きのふもけふも、この静かな空の下に、平生着でわが子と共に外を歩かれるのは、何んといふ有り難いことでせう。たゞ、それにしても、戦時の母の心は、その服装の上にもあらはれずにはゐない筈です。少くも、子どもが、ほかのことで教へられてゐる戦時の心と、あまりにも別な、無頓着な感じを、母の服装が興へたとしたら、どういふことになりませう。木の花、草の花は、戦時でも紅くばつと咲き開きます。なやかに風にゆらめいてゐます。母の服装はさうした自然のまゝのものではありませんまい。

幼稚園から

○そろそろ汗の季節です。六月の風さわやかに、さらさらとしてゐるのは、おとなの膚です。元氣に駆けまわり、動きまわつてゐる子ども達の膚へは、六月がちつとりと汗ばませてゐます。

○汗くらの一々氣にしてゐる譯ではありませんが、汗が流れる、直ぐかわくといふ眞夏とはちがつて、その上、着物もまだ眞夏ほど風が通さないために、べとべと毛孔をふたをしさうです。

○燃料の不足は、からだを温めるための冬の入浴を少からしめました。此の節では、それが、汗によつた膚のための問題になりました。しかし、もう冬ではなし、どこでも、裸にして、ごしごしふいてやることも出来ません。

○膚の清潔、それは衛生上の必須であると共に、子ども心もち、ひいては性格の上にも影響の多いことです。幼稚園ではうんと汗ばませますから、よろしく。